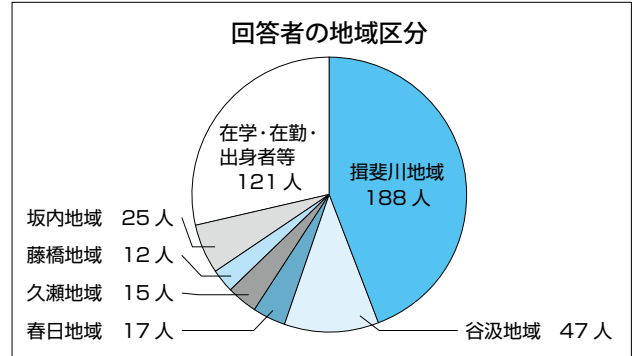
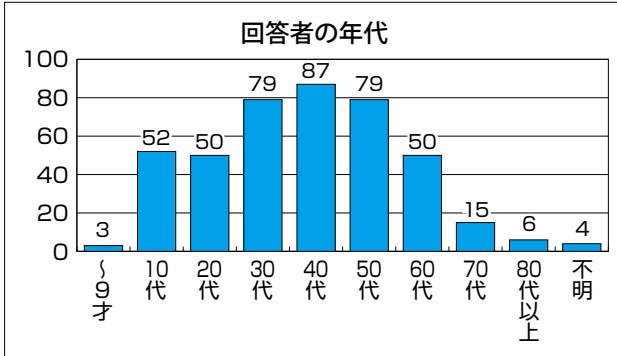


Ⅱ) 記入方式アンケート 結果まとめ

回答者 425人 (うち男性 178人、女性 230人、性別無回答 17人)



おもな質問項目と結果のピックアップ

■ 町のどんな場所が好き？

(回答数 768件) 選択+自由記入式、複数回答可

順位	場所	得票
1	町内の温泉・風呂	210
2	谷汲山華厳寺	197
3	徳山ダム	84
4	谷汲緑地公園	75
5	夜叉ヶ池	55

温泉・風呂は、幅広い年齢層からの支持を受け人気。町民以外(在学在勤者等)からの1番人気は谷汲山華厳寺でした。

■ 好きな町のイベントは？

(回答数 828件) 選択+自由記入式、複数回答可

順位	イベント名	得票
1	いびがわの祭り・ありがとう花火	245
2	いびがわマラソン	187
3	揖斐祭り・子供歌舞伎	150
4	谷汲さくらまつり・もみじまつり	104
5	夜叉ヶ池伝説道中祭り	40

■ 町内にどんな施設があったらうれしい？

(回答数 299件) 自由記入式

順位	施設	得票	備考
1	公園	50	子どもと遊べる公園、河川敷の公園、広い公園、芝生公園など
2	大型、複合型の商業施設	47	ショッピングモールなど
3	飲食店	41	飲食店がもっとほしい、ファストフード店、ファミレスなども
4	娯楽関連施設	40	映画館、ボーリング場、遊び場、パチンコなど
5	スポーツ施設 運動できる公園	31	温水プール、トレーニングジム、ランニングコースなど

「公園」と回答した大半は、30代～50代の世代でした。

■ 町の良いところ自慢できるところは？

(回答数 398件) 自由記入式

順位	内容区分	得票
1	自然の豊かさ 山・川・空気・水・景観が美しいなど	235
2	イベント・観光資源の魅力 いびがわマラソン、谷汲山、徳山ダムなど	51
3	町の雰囲気 のんびり、静か、自然豊かなので子育てに良いなど	40
4	人 人が温かい、人情が厚いなど	30
5	食べ物 米・野菜・水がおいしいなど	16

■ 町のきれいなところ、不便なところ、足りないところは？

(回答数 414件) 自由記入式

順位	内容区分	得票
1	交通の便、公共交通機関 交通手段の少なさ、電車・バスの便の少なさ、アクセスの悪さなど	122
2	商業施設の少なさ 買物の不便さ、飲食店の少なさ、商業施設の少なさなど	79
3	町の環境、雰囲気 若者が少なく活気がない、田舎、不便で住みにくいなど	59
4	気候 雪の多さ、夏の暑さ、雨の多さなど	38
5	行政サービスや施策 町有施設の管理が不十分、将来のビジョンをしっかりと持っているか、など	32
6	道路事情 道路が狭いなど	30

■ 役場の職員に何を求めますか？

(回答数 409件) 選択+自由記入式、複数回答可

順位	内容区分	得票
1	ていねいでわかりやすい対応を	133
2	税金を節約して	95
3	もっと専門性を身に付けて	58
〃	自分の業務をしっかりやって	58

「町民アンケート」の結果を報告します。



答えやすい身近な質問項目を設定し実施しました。紙面の都合で掲載できなかった結果は、町ホームページに掲載しています。

これからのまちづくりや日々の役場の業務に活かすため、昨年12月、町の若手・中堅職員有志が任意の町民の皆さまに対しアンケート調査を行いました。合計590人の皆さまからご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。とりまとめた結果の一部をご報告します。

調査対象：町民、在勤・在学者、町出身者
 実施期間：H25/12/2～12/27
 実施方法：Ⅰ) 街頭インタビュー方式
 Ⅱ) 記入アンケート方式(手渡し)

アンケート実施への思い

私たち町職員は、日々の業務の中で町民の皆さまと接し、さまざまなご意見を耳にします。今回のアンケートは、皆さまの町に対する思いや希望を再確認しようと、若手・中堅職員が発案し実施しました。今まで職員は皆さまの思いをくみ取ることができていたか、また双方の思いが乖離していないかを確認することが、住民協働のまちづくりを掲げる揖斐川町の職員にとって大切であると考えています。

アンケートを終えて（総括）

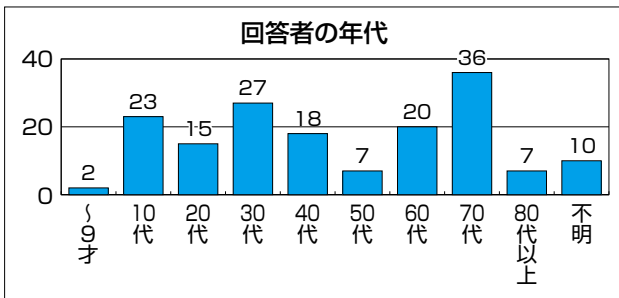
アンケート結果から、皆さまが感じている揖斐川町の自慢や魅力、また不便や不安などが見えてきました。豊かな自然はまち一番の魅力であると同時に、広大な自然だからこそ、寒暖の激しさや災害の危険性、交通の便の悪さや商業施設の少なさなど、町民の皆さまの不満の要因ともなっています。このように長短あわせ持つまちの大切な資源について、その特性を十分理解し、よりよく活用する方法を探っていく必要があります。間もなく町村合併10周年を迎えるにあたり、アンケート結果全体を詳しく分析し、さらにその先10年間のビジョンを策定するための手がかりとして活用させていただきます。今後も様々な機会を通じて、皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思います。

I) インタビュー方式 結果まとめ

インタビュー内容

選択分野を提示し、その中から興味を持っている分野を選んで、自由にお話していただきました。

回答者 165人（うち男性 44人、女性 121人）



教育に関すること

- ・教育への熱意をもって、学校で郷土への愛着を育てほしい。
- ・中学生議会、中学生教育委員会を続けてほしい。

文化や歴史に関すること

- ・文化遺産や歴史を後世につなぎ、町の魅力・観光資源としても発信を。

公共の便に関すること

- ・公共交通機関がなくなると、便利なところへ移住し、人口が激減する！

ご意見ピックアップ

地域に関係すること

- ・若い人が出ていく。なぜ？
- ・地域や集落のエゴが強い。地域が自分たちでまとまらない。
- ・行政は、外向けPRばかりでなく、今いる住民の住みやすさを考える視点を持って。

健康・福祉に関すること

- ・独居の方の見守り強化、助け合いを。
- ・医療費、消費税の負担が重くなり、生活が困窮し孤独死が増えるのでは？

子育てに関すること

- ・子育て支援に特化した町を目指して。
- ・児童館がほしい。
- ・子どものための演劇会や読み聞かせを、もっと公民館でやってほしい。

観光・イベントに関すること

- ・活性化のために、町全体が盛り上がるイベントを開催してほしい。
- ・町の観光や名物を知ってもらいたい。住んでいても知らないことが多い。

その他

- ・制度や町の情報をもっとほしい。
- ・これからの農業はどうなるのか？ 耕作放棄など…。